

# 政治と神

シリーズ～新約聖書入門～

2017/10/1

# 最近気になること

- ▶ 神様はなぜ金正恩(キム・ジョンウン)をほうっておかれるのか?
  - 北朝鮮の国民を飢えさせてミサイルや核兵器を作り、日本とアメリカを挑発している
- ▶ アメリカ人はなぜトランプみたいな人を大統領に選んだのか?
  - アメリカのキリスト教界の多くはトランプ支持
- ▶ 突然衆議院選挙になりましたが、クリスチャンはどこに(誰に)投票したら良いのですか?

# 上に立つ権威に従う

「人は皆、上に立つ権威に従うべきです。神に由来しない権威はなく、今ある権威はすべて神によって立てられたものだからです。」ローマ13:1

- ▶ 権威(政府・支配者)の言うことには100%従え、  
という意味か？
  - 理不尽な弾圧や、殺人の強要、教会に対する迫害などに対しても黙って従うのか？
- ▶ 基本的姿勢として権威に刃向かわない
  - イエス様もパウロもローマ帝国に反抗しなかった
  - 教会が組織だって反政府活動をしな(他の活動)

# すべての権威はやがて消滅する

「次いで、世の終わりが来ます。そのとき、キリストはすべての支配、すべての権威や勢力を滅ぼし、父である神に国を引き渡されます。」コリントー15:24

- ▶ 神様は世の終わりまでは人間に自由にさせておられる
  - 支配者だけではなく、すべての人が自由である
- ▶ しかし、世の終わりには、すべての権威は滅ぼされ、人類の支配は神様に返される
  - 本来は創造主である神様のものであり、神様だけが正しく支配することができる

# 権威者のために祈る

「まず第一に勧めます。願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい。王たちやすべての高官のためにもささげなさい。わたしたちが常に信心と品位を保ち、平穏で落ち着いた生活を送るためです。」

テモテー2:1-4

## ▶ 「執り成しの祈り」の大切さ

- 自分のためにばかり祈ってしまうけれど…

## ▶ 王や高官のためにも執り成しの祈りをする

- 神様の御心に従って国を治めることができるように
- そうすることで私たちの信仰生活が守られる

# 私たちが目指すのは「**神の国**」!

- ▶ イエス様は「神の国」を地上にもたらすためにこの世に来られた
  - 「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」マルコ1:15
- ▶ 神の国とは神の「王国」つまり、神様を王とする社会のこと
  - 「御国が来ますように。御心が行われますように、天におけるように地の上にも。」主の祈り
- ▶ 神の国は福音を信じることから始まる
  - イエス・キリストの贖罪によって土台ができ、彼を信じる人たちによって造られる

# 「神の国」と「人の国」の違い

## ▶ 幸・不幸の基準が違う

- 「**貧しい人々は、幸いである**、神の国はあなたがたのものである。**今飢えている人々は、幸いである**、あなたがたは満たされる。**今泣いている人々は、幸いである**、あなたがたは笑うようになる。」ルカ6:20-21

## ▶ 目指すものが違う

- 経済的・物質的豊かさを求めない
- 痛みや苦しみのない社会を目指さない

## ▶ 「人の国」は結局自己中心である

- 自国(自分たち)の利益が最優先される!

# 旧約聖書時代の失敗

- ▶ 出エジプト後のイスラエル民族は律法に基づく神の国を目指した
  - 王や支配者のいない、律法に基づく国家
  - 主なる神に従うならば国の安寧と必要は保証される
- ▶ 律法国家をあきらめ、王を立てる
  - 王たちに振り回され、結局国を失う
- ▶ イエス様が来られた時、人々はダビデ王の再来かと思ったが、そうではなかった
  - イエス様はユダヤの為政者とローマ帝国の権力者によって殺された

# 民主主義× 神主主義○

- ▶ 民主主義が正しい政治の仕組みではない
  - 民主主義は結局票取り合戦
  - 資本主義は結局経済格差を生み、金持ちを作る
- ▶ 私たちが目指すのは「人の国」を良くすることではなく、**神の国を地上に拡大すること**
  - 「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にきなさい。」マタイ28:19
- ▶ パン種のようにパン生地(この世)に浸透し、全体を膨らませる
  - また言われた。「神の国を何にたとえようか。パン種に似ている。女がこれを取って三サトンの粉に混ぜると、やがて全体が膨れる。」ルカ13:20-21